

“スペースシャトル・アトランティス号(STS-115)の状況”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆ミッションは無事終了、次のディスカバリー号(STS-116)へ

スペースシャトル・アトランティス号(STS-115)は、P3/P4トラスを国際宇宙ステーション(ISS)へ取り付けるといった重要な任務を終え、9月21日午後7時21分(米国東部夏時間9月21日午前6時21分)にNASAケネディ宇宙センター(KSC)に着陸し、11日と19時間6分にわたるミッションを終えました。

当初、着陸は9月20日午後6時59分(同9月20日午前5時59分)に予定されていましたが、着陸地の天候不良および機体の追加検査が必要となったことから延期されました。この追加検査は、姿勢制御システム(Reaction Control System: RCS)の確認作業中にアトランティス号近傍に小さな浮遊物が観測されたため、アトランティス号から剥離したのかどうか分析し、機体の安全性を確認するために実施されました。NASAは、検査の結果、機体に損傷はなく帰還に問題はないと判断し、その後アトランティス号は無事着陸しました。

●STS-115ミッション情報

<http://iss.sfo.jaxa.jp/iss/12a/> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/main/ (NASA: 英語)

次のスペースシャトル・ディスカバリー号(STS-116)は、米国時間12月14日以降に打ち上げられる予定で、ISSにP5トラスを運びます。なお、NASAではこの打ち上げ日を米国時間12月7日以降に前倒しすることも検討しているとのこと。



アトランティス号の着陸(提供: NASA)



着陸したSTS-115クルーとアトランティス号(提供: NASA)

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

☆最初のISS構成要素打ち上げから2867日経過しました

☆第13次長期滞在クルーのISS滞在は178日経過しました

☆第14次長期滞在クルーのISS滞在は6日経過しました

☆国際宇宙ステーションのクルー交代/ソユーズ宇宙船交換ミッション(13S) ISSヘドッキング

9月18日にカザフスタン共和国バイコヌール宇宙基地から打ち上げられたソユーズ宇宙船(13S)は、9月20日午後2時21分(米国中部夏時間 9月20日午前0時21分)にISSにドッキングしました。これにより、ソユーズ宇宙船(13S)に搭乗していた第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリア、ミハイル・チューリン両宇宙飛行士、女性初の宇宙旅行者であるアニューシャ・アンサリ氏がISSに到着しました。

●国際宇宙ステーションのクルー交代/ソユーズ宇宙船交換ミッション(13S)

<http://iss.sfo.jaxa.jp/iss/13s/> (JAXA: 日本語)

ISSへ接近するソユーズ宇宙船(13S)
(提供: NASA)

☆ISS動向

第13次長期滞在クルーのパベル・ビノグラドフ、ジェフリー・ウィリアムズ両宇宙飛行士は、ISSに到着した第14次長期滞在クルーのロペズ-アレグリア、チューリン両宇宙飛行士への引継ぎ作業を行っています。また、第13次長期滞在クルーのトマス・ライター宇宙飛行士を含め、各メディアからのインタビューに応じ、さらに第11回NASA極限環境ミッション運用(NEMO)訓練として米国フロリダ州キー・ラーゴ沖にある海底研究室「アクエリアス」で訓練を行っているクルーとの交信を行いました。9月18日にオーバーヒートしたエレクトロン(酸素発生装置)については引き続き原因調査と対応策の検討が行われています。

9月28日には第13次長期滞在クルーから第14次長期滞在クルーへの指揮権移譲セレモニーが行われる予定です。その後、第13次長期滞在クルーのビノグラドフ、ウィリアムズ両宇宙飛行士、アンサリ氏は、ソユーズ宇宙船(12S)に搭乗して、9月29日午前6時54分にISSから分離し、同日午前10時10分にカザフスタン共和国に着陸する予定です。

なお、ライター宇宙飛行士は、第14次長期滞在クルーとして引き続きISSに滞在します。



ソユーズ宇宙船(13S)でISSに到着した3名と第13次長期滞在クルーによる広報イベント(提供: NASA)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。